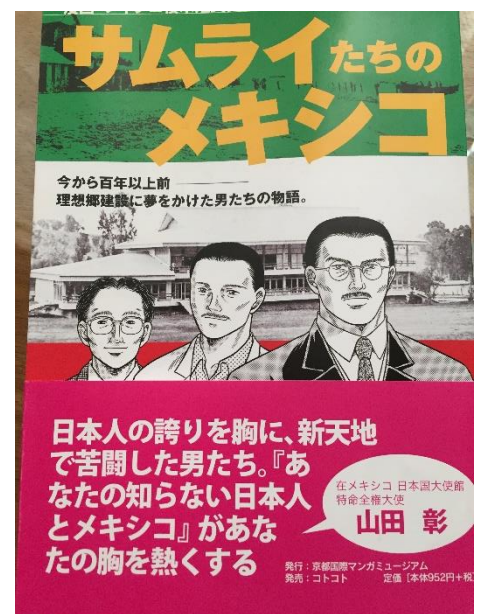


留学生活も残り少なくなってきました。私たちが通う CEPE のコースも今回が最後になります。基礎、中級レベルを終えると最後の発展コースに進みます。難しい内容や、レベルの高い DELE (スペイン語能力試験) の対策問題などに日々苦戦しつつも有終の美を飾るべく毎日勉強に励んでいます。勉強も大事ですが残り少なくなってきた滞在期間のことを考えると観光や他のアクティビティにも時間を割かなければなりません。そんな感じでバタバタ、そわそわしながら過ごした 5 月…。今回のレポートでは私が通っている発展コースについて少し書いていきたいと思います。

発展・応用クラス 「Superior」

同じプログラムでメキシコにやって来た研修生は約 30 人程ですが、CEPE の superior(発展クラス)まで受講するのは 5 名程度です。ですので、事前の情報がとても少なく、いったいどんな難解な授業が行われているのかとかなりびくびくしながら最初の授業を迎えました。教科書を見る限り、新しい文法事項は一切ありません。無駄に分厚い教科書には難解な長文、発表の仕方、論文の書き方などが載っています。クラスメイトは全員で 11 人。そのうちの 5 人が日本人です。CEPE の授業では毎回セメスターの終わりに二日間にわたってテストが行われるのですが、superior のクラスにはテストはありません。その代わりに、各々が自分の決めたテーマでプロジェクトに取り組み、論文を書き、最終的に発表をすることで成績がつけられるそうです。

授業の内容としては、会話が中心で時には映画や小説などのテーマについてみんなで内容を深めます。そして今までは文法のルールを守って話していたのですが、ネイティブが使うような実用的な表現、メキシコ特有の表現、若者言葉なども学ぶことができます。メキシコには多くの特有の言い回しや表現、そしてスラングが存在します。普通のスペイン語のクラスではとても学ぶことができないような、貴重な授業だなあとありますが、時には強烈すぎるスラングも数多く存在するので、先生は繰り返し「これは絶対に使っちゃダメ！」といいながら意味を解説してくれます(笑)さて、最終発表のために自分でテーマを決めて論文を進めていかなければならないのですが、私のテーマは「日系移民の歴史」です。自分の母親、祖父母、と自分のルーツを辿っていくと、どうしても日系移民について調べずにはられません。日本の大学でも日系移民から学ぶ多文化共生について発表したことがあったので、その時に集めたデータを使って今回の最終発表をすることに決めました。



メキシコのイベントで購入したメキシコ移民について取り扱った書籍。かなりお勧めです。

さらに今回はメキシコに渡った日本人についても詳しく調べ、発表内容に追加することになりました。しかしいざ論文を書いてみると、スペイン語で論文を書くのは思っていたよりも大変です。日本語をできるだけシンプルな形に直し、それをひたすら西訳する、という作業を毎日毎日繰り返しています。現在の進行状況としては約半分ほど終わったぐらいでまだまだ道のりは長く、残りの数週間で納得のいく論文を完成できるように頑張りたいと思います。

本場メキシコの「ルチャ・リブレ」！



メキシコといえば・・・一度は行ってみたい「ルチャ・リブレ」！ ルチャ・リブレとはスペイン語でプロレスのことです。格闘技には興味がなかった私ですが、メキシコに来たからには一度は足を運んでみたいと思っていました。今回は広島県人会の会長、平田ビクトルさんにプライベートイベントがあると教えていただき、会長さんの招待で初めてのルチャ・リブレ観戦となりました。日本人ルチャドール、「ウルティモ・ドラゴン」の30周年記念イベントだそうで、ISUZU、NGK、NISSIN、YAMAHAなどの基本の企業がスポンサーとなって開催されました。会場は「アリーナ・メヒコ」というメキシコでも屈指のルチャ・リブレの聖地です。

子供から大人までみんなで大きな声で叫びながらリングで大暴れするルチャドールたちを大興奮で応援しました。プロレスの知識がない私でも大いに楽しめるものになっていて、その迫力に圧倒されました。



勝利をおさめたウルティモ・ドラゴン。
かっこよかったです！！



日本人のルチャドールもちらほら。ベビーフェイスとヒールに分かれて戦いますが・・・どちらがヒールか一目瞭然ですね（笑）